



みらいの北区

ダンボールタウンプロジェクト

北区制80周年記念事業 北区役所による「まちづくり」プロジェクト

小学生・保護者、高校生・大学生からの声

小学生

- ・普段、家ではできない大きな工作なので、とても楽しかった。
- ・自分の考えを形にするのが得意じゃなかったけど、お兄さんお姉さんたちと話す内に上手く表現することができた。これからまちについて、いろいろ勉強していきたい。

保護者

- ・普段接することがない、学生さんや区役所職員さんといった他世代の方たちと交流する機会となり良かった。
- ・自分の作品だけではなく、周りの子たちと協力して全体の作品を作っていたようで、子どもの成長を感じられるイベントでした。
- ・子どもがまちの知らなかったことを知ることができて良かったと教えてくれました。

高校生・大学生

- ・まちづくりについて、理解が深まっただけでなく、北区について学べ、様々な世代と議論、交流しながら一つの物事を進めることの難しさを知ることができた。
- ・人前で自身の考えを発表することが苦手だったが、このプロジェクトを通して、苦手意識を少しずつ克服できた。
- ・自身がまちを担う一員として、住んでいるまちをより良くするにはどうすべきかなど、考えることができるようになった。
- ・小学生からの多様な発想と自分たちの想いをどうやってつなげていくのか考えることで、様々な意見をまとめる力が身に付いた。

プロジェクトで得られたこと、振り返り

本プロジェクトは区制80周年記念事業として発足し、今回で3回目の実施となりました。

プロジェクトの中心である高校生・大学生の皆さんには、慣れない環境で戸惑いながらも市職員や高校教諭・大学教授らのサポートを受け、エリアの調査分析やフィールドワークでのヒアリングに果敢に挑戦し、未来の姿をまとめた「未来図」の作成や、ワークショップに向けた、未来図のポイントを分かりやすく、楽しく学べる工夫を凝らした「プレゼン資料」の作成を通じ、実践的なまちづくりを経験していただきました。

ワークショップでは、小学生から大学生までの様々な属性、世代の仲間たちが一つになり、意見交換しながら、ダンボールで未来のまちを創り上げていく過程は、まさに、人と人がつながり、理想のまちという目標に向かって共に歩いていく、まちづくりそのものでありました。

検討会議からワークショップまで関わっていただいた方、全員が自身の成長を実感でき、高い満足度が得られる結果となり、プロジェクトを終えました。

令和5年度参加者一覧

【大学生・高校生】計26名

- | | | |
|-----------------|-------------|-------------|
| ・愛知学院大学 1名 | ・愛知淑徳大学 1名 | ・椋山女学園大学 3名 |
| ・中部大学 1名 | ・名古屋市立大学 3名 | ・名古屋造形大学 4名 |
| ・名古屋市立北高等学校 13名 | | |

【ワークショップ参加者】区内小学生 36名

主催・お問合わせ：名古屋市北区役所企画経理室

住所：名古屋市北区清水4丁目17番1号

TEL：052-917-6429 E-mail：a9176427@kita.city.nagoya.lg.jp

イラスト・ロゴ・デザイン協力：名古屋造形大学 情報表現領域3年 横田 実夢 / 大塚 美空 / 高橋 勇次 / 水野 愛夏

ワークショップ当日の様子 - キタッコくらぶHP -



みらいの北区ダンボールタウンプロジェクト

URL: <https://kitaku-kids.jp/cardboardtown/>



みらいの北区ダンボールタウンプロジェクトとは、北区制80周年記念事業として、令和3年度から実施しているプロジェクトです。

これまで、まちづくりに関心を持った区内の小中学生や北高校の学生、市内の大学生たち、延べ232名が参加しました。

プロジェクトを進める中で議論や意見交換を重ねながら、市職員や高校教諭、大学教授のサポートのもと、参加した全員で試行錯誤を行い、プロジェクトにご賛同くださった企業から提供いただいたダンボールを活用して、みんなの理想の北区を創り上げていきました。



調査・分析

第1回検討会議 令和5年9月17日 “未来志向型”のまちづくりを学ぶ



3つのエリア（大曽根、楠公園、名城公園）に分かれチームを編成。まちづくりの専門家の指導のもと、将来の状態を共通目標とし、どのように実現していくか考える未来志向型のまちづくりを実践。各エリアの特徴や課題を抽出し、エリアイメージを仮定、まちづくりの目標について議論を進めた。

第2回検討会議 令和5年10月8日 フィールドワークで現場を知る



前回会議を踏まえ、フィールドワークを実施。現場の空気に触れ、地域住民の声を聴くことで、データや文献からは得られないリアルな経験を積んだ。エリアの実態にマッチしたまちづくりの目標を定め、未来の姿をイメージする重要な機会となった。

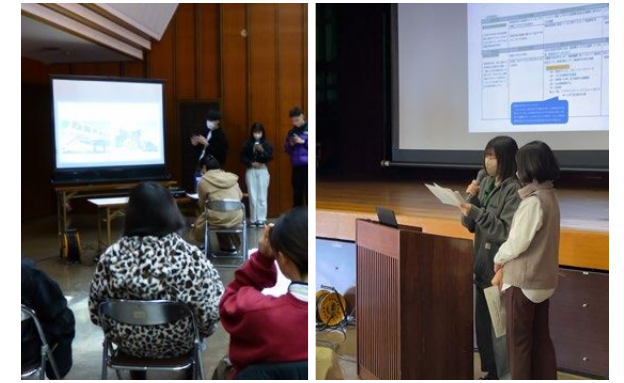
未来図・プレゼン資料制作

第3回検討会議 令和5年10月22日 未来の姿をまとめる



未来図とは、20年先の未来を想定し、めざすべき姿をまとめた「まちの設計図」。まちづくりの目標を達成するためのアクションを学生の柔軟な発想や国内外の先進的な取組みを参考にしながら、まちづくりの専門家や市職員からのアドバイスも取り入れ、議論を深め、集約した。

第4回検討会議 令和5年11月19日 未来のまちを説明



ワークショップへ招待する地元小学生に向けた未来のまちのプレゼン資料は、未来図のポイントを分かりやすい表現に置き換えながら、興味が膨らむように様々な工夫を加えた。プレゼンのリハーサルでは、他エリアへのアドバイスも行い、互いにプレゼンの精度を高めた。

企画・準備

みらいの北区ダンボールタウンプロジェクトワークショップ 令和5年12月10日

第5回検討会議 令和5年11月26日 ワークショップへの最終準備



ワークショップ運営に向け、デザインの専門家の指導のもと、ダンボールで安全に楽しく工作するための講義やダンボール加工を行った。また、司会のリハーサルでは、市職員のアドバイスを受けながら、聞き手に伝わりやすく、気分を盛り上げられる司会進行に磨きかけた。

北区の未来を担う仲間と創る 理想のまちづくり



北区のまちの特徴や課題、未来のアイデアを小学生に紹介しながら、小学生ならではの自由な発想を加え、各エリアの特徴を活かした未来のまちを創り上げた。普段作ることができない大きな作品に、参加した小学生の満足度も高く、ワークショップ運営を担った学生を始め、会場全体が達成感に包まれた。

オープニング 各エリアの説明

ダンボールタウンの制作

各エリア作品発表・講評 クロージング

